

ロゼッタネットの目指す SCMを支えるマイルストーンプログラムⅡ

ロゼッタネットがマイルストーンプログラム (MP=Milestone Program) を通して、どのようにSCM (サプライチェーンマネジメント) を構築しているビジネスプロセスを拡大しているのか、その動向について紹介する。

ロゼッタネットのeビジネス・プロセス・シナリオでは、商品開発などの設計系、マーケティング管理業務などの需要創造系、需要・在庫予測などの予測・計画系、受発注系、製造系、ロジスティクス系、支払いなどの決済系でプロセスがクラスターとして大別されている。

2001年のMPの多くは、受発注管理プロセスや製造プロセスの自動化に集中していた。02年に入り、受発注管理の上流に位置する設計領域や下流の仕掛品管理、入出荷情報、支払などの分野でその広がりを見せた。

03年は、環境情報の交換のための「Material Composition」、支払決済情報の電子化を目指す「Payment」、販売手数料清算の自動化を目指す「Sales Reporting」、出荷業務の自動化・効率化を目指す「Direct Ship/3PL」など、数多くのMPが様々な業務領域で現在進行中である。また、政府機関を巻き込み、通関申請の電子化・効率化を目指す「e-Customs

Declaration」MPも立ち上がろうとしている。

このような動きに対し、ロゼッタネットジャパンでも、環境情報の電子化、輸出入を想定したVMIの運用、技術仕様書の電子化・自動交換等、これらのMPに連動させた新たなワーキンググループを立ち上げている。

ロゼッタネットジャパンでは、これらのワーキング活動を通して利用者ニーズに沿った標準策定の重要な役割を果たしながら同時に標準の実装普及でも大きな役割を果たしており、ロゼッタネットからの評価も高い。最後に、MPで培われた先進企業の標準実装経験は、ロゼッタネット実装ガイド (RIG=ロゼッタネット・インプリメンテーション・ガイド) にまとめられ、ロゼッタネットのホームページ (<http://www.rosettanet.org>) を介して無料で公開されており、これからロゼッタネット標準を導入される企業への、導入の効率化、コストダウンに役立っている。これらのRIGには具体的なビジネスシナリオ、PIPRの使用法、実装経験から得られたノウハウなどが記載されており、これからロゼッタネット標準を学び、導入及び導入を検討される皆さんには是非とも活用頂きたい。

ロゼッタネットのマイルストーンプログラム②

